

# *github*の使い方

あなたは使いこなせることができるか...

# 注意事項

- 全部部長さんがやり方についてまとめてくれたので説明する必要はないかなと思いましたが、一応説明します。
- まず私はSTEMASK Docsに乗っている方法を使っていません。ですので、少し変なところがあるかもしれませんがもし間違っていたら教えてくれると助かります。

githubアカウントについて

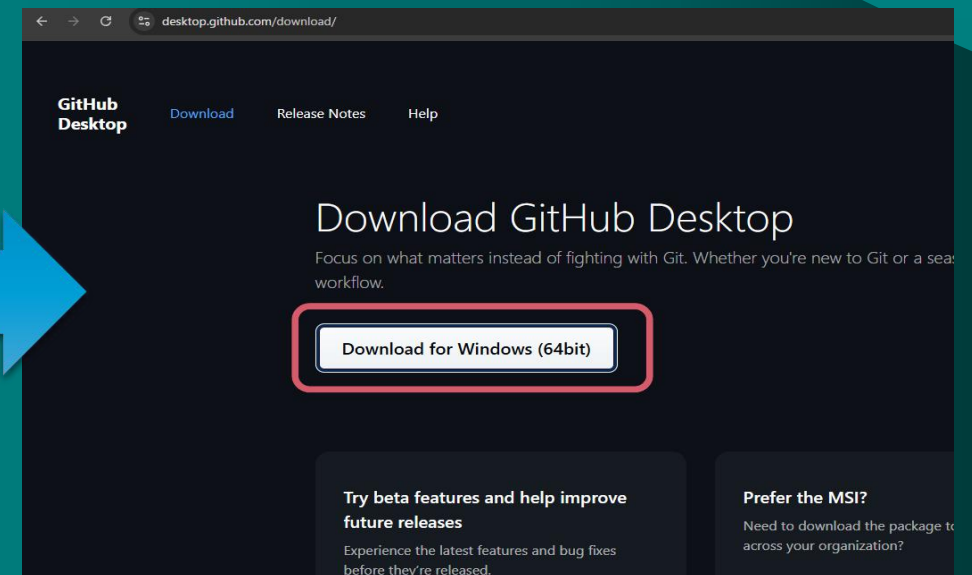
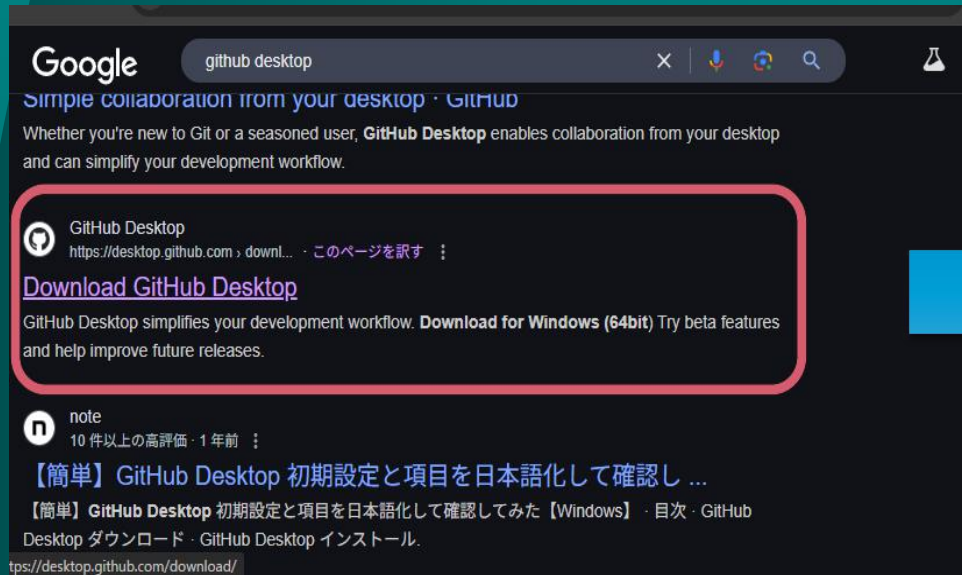
- STEMASK Docsを見てアカウントは作ってください。

# github desktopについて

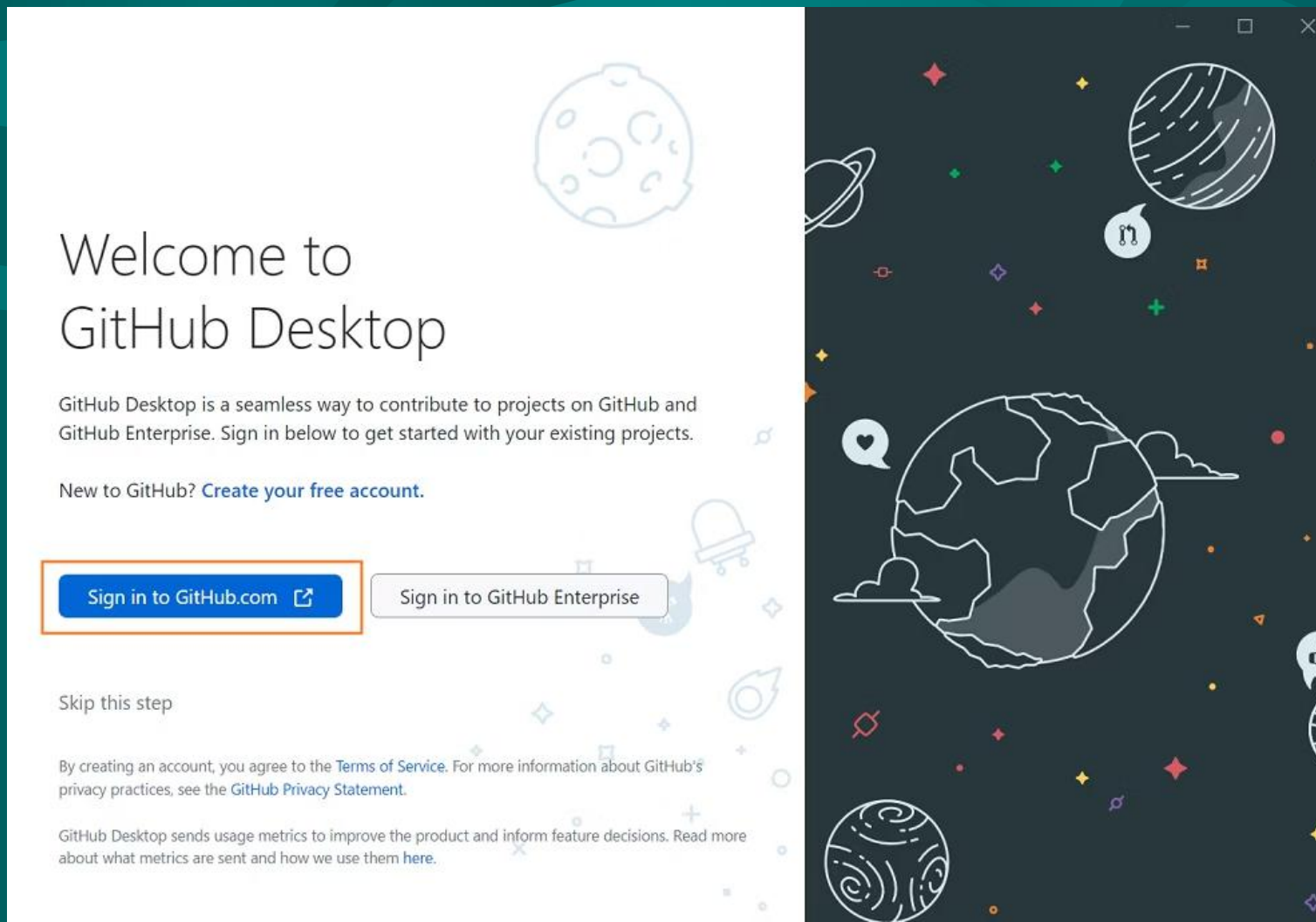
- github自体はネットなので最初からリモートリポジトリで管理するのだがgithub desktopを使うことによって自分のpcでローカルリポジトリとして管理できるという素晴らしいソフトです。
- 他にも、というかほとんどのプログラマーはSourceTreeというgithub desktopと同じようなソフトを使っていますが、自分はよくわからなかったのでgithub desktopで説明していきます。

# github desktopのインストール方法

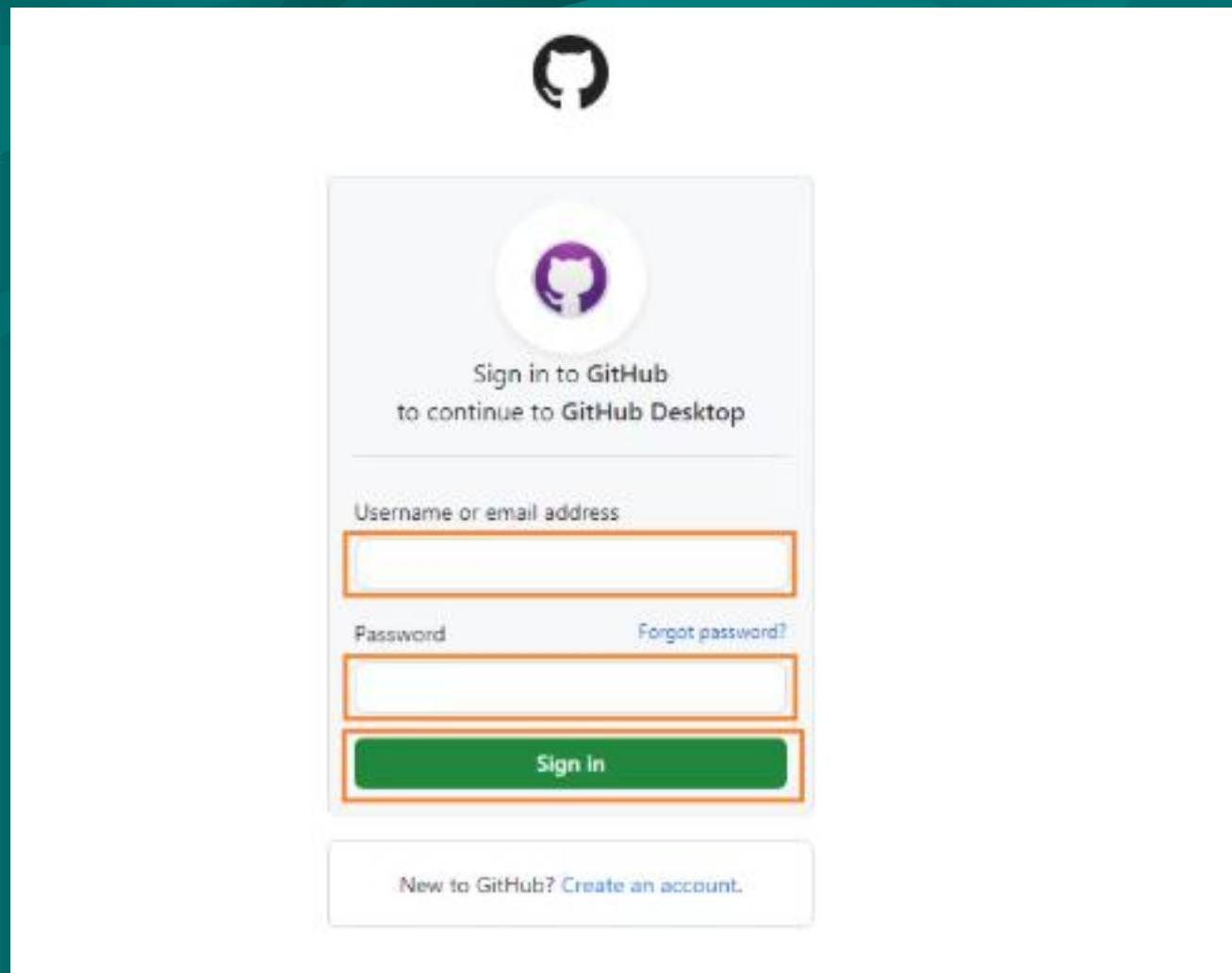
- まず各検索エンジンで「github desktop」と検索し、github公式の「Download Github Desktop」と書いてある所をクリックし、「Download for Windows(64bit)」と書いてあるボタンを押します。



- そこからインストールしたファイルを起動させ、「Sign in to Github.com」というボタンを押下します。



- そうしたらgithubの公式ページが開きサインインの画面が出てくるので、自分のアカウントとパスワードを入力します。



The image shows the GitHub sign-in page. At the top center is the GitHub logo (Octocat). Below it is a circular profile picture placeholder with the Octocat logo inside. The text "Sign in to GitHub" and "to continue to GitHub Desktop" is centered. Below this is a form with two input fields: "Username or email address" and "Password". The "Password" field has a "Forgot password?" link to its right. A green "Sign In" button is at the bottom of the form. Below the form is a link: "New to GitHub? [Create an account.](#)".

Sign in to GitHub  
to continue to GitHub Desktop

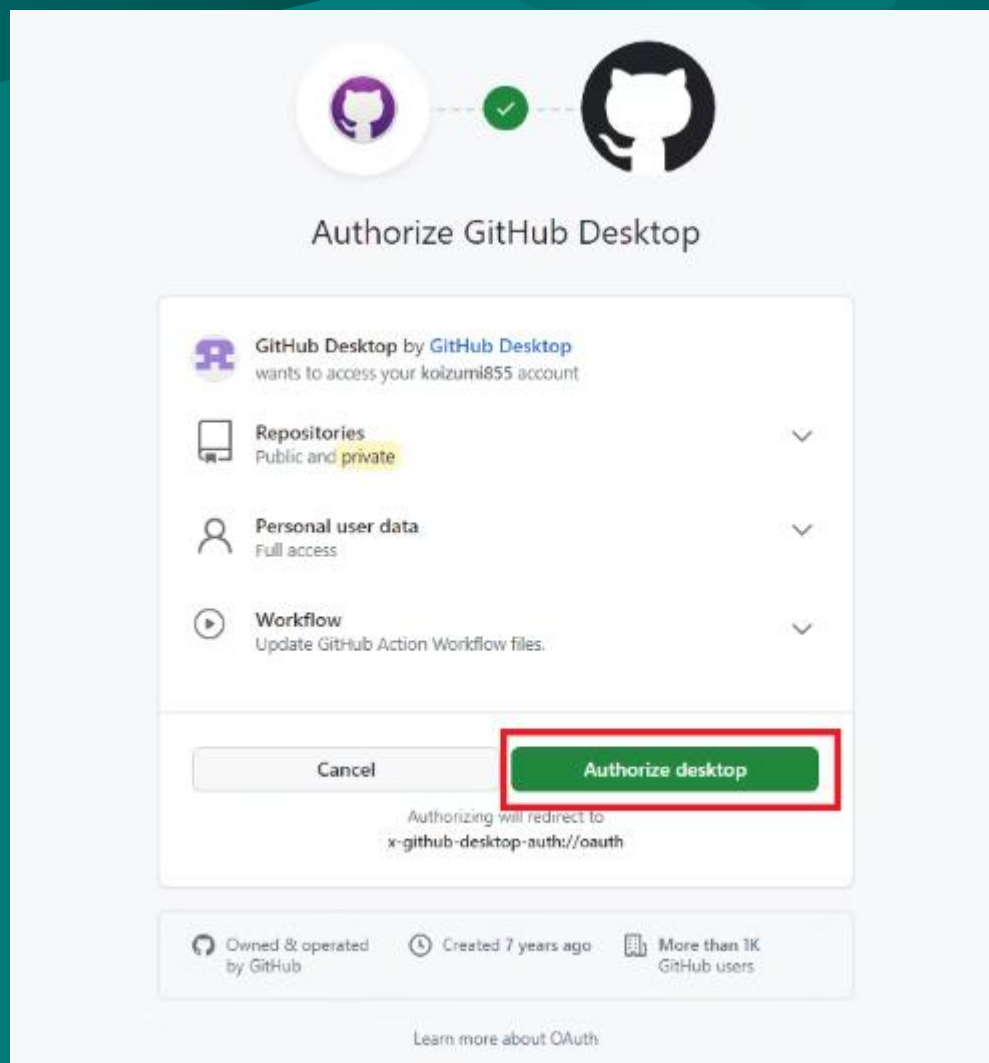
Username or email address

Password [Forgot password?](#)

Sign In

New to GitHub? [Create an account.](#)

- サインインしたら「Authorize Github Desktop」という画面が出てくるのでここで「Authorize Desktop」というボタンを押します。





- 連携が終了したらポップアップが表示されるので「Github Desktop.exeを開く」をクリックしてください。

GitHubDesktop.exe を開きますか？

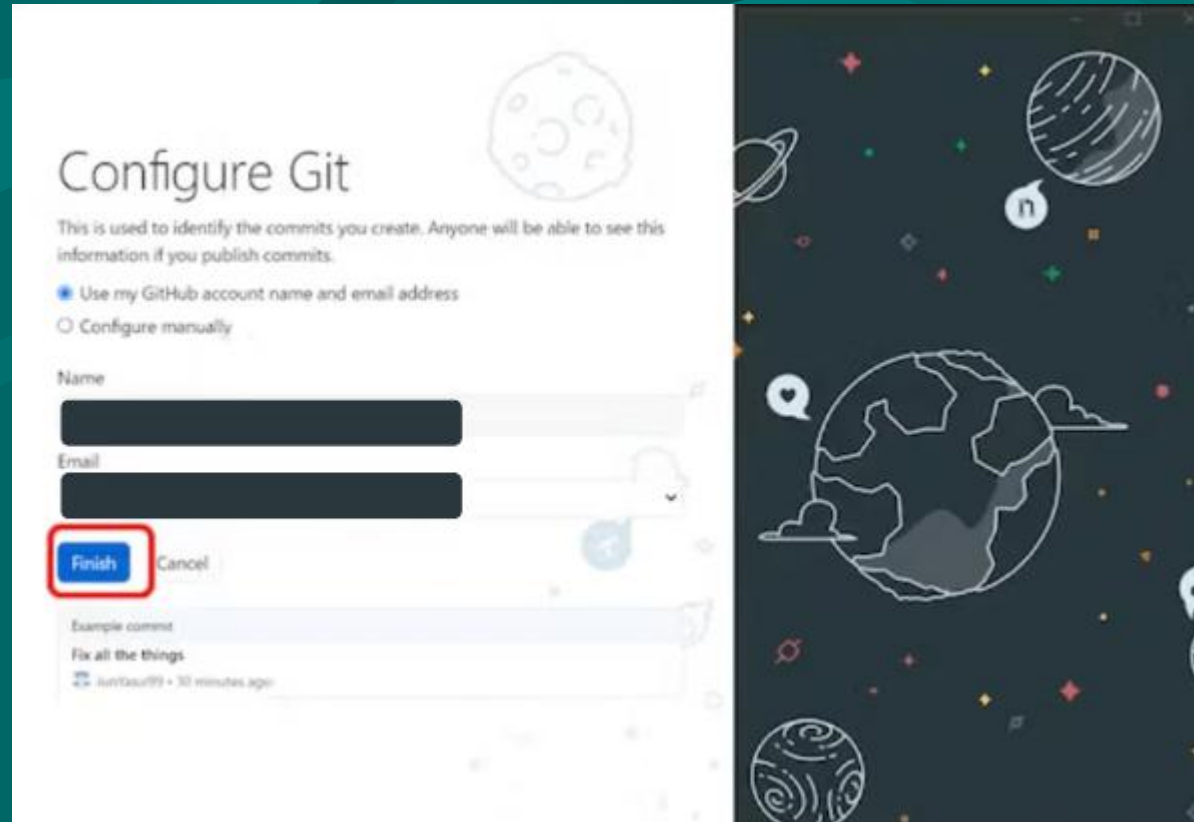
<https://github.com> がこのアプリケーションを開く許可を求めています。

☐ [github.com](https://github.com) でのこのタイプのリンクは常に関連付けられたアプリで開く

GitHubDesktop.exe を開く

キャンセル

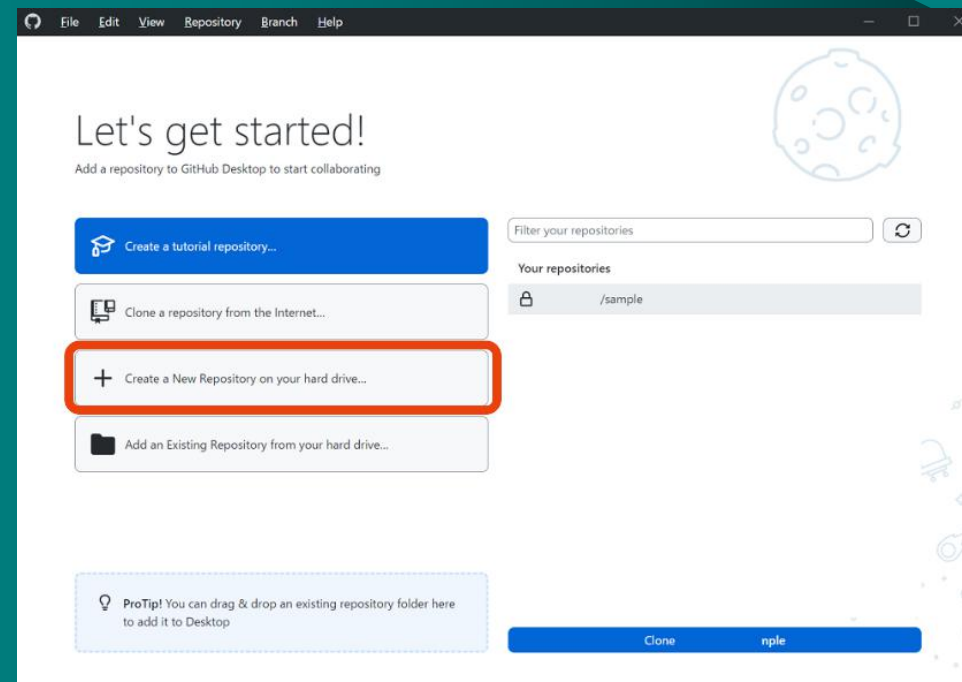
- サインインが成功すると、登録済みの名前とeメールの確認を求められます。間違いがなければ「finish」を押下します。



これでインストールは完了です。

# githubのリポジトリ作成

- ここからはいろんな所を端折って説明していきます。  
まず、github desktop初回起動時は以下のようになりますが、ここから「Create a New Repository on your hard drive」と書かれている所をクリックします。
- もう薄々気づいている人もいるかもしれませんが日本語対応していません。



- そしたら、リポジトリの名前を入力しローカルでの保存場所を決めてください。（保存場所に関しては最初はドキュメントの方になっていると思います。）  
そして「Description」と「License」については関係ないものと思ってもらって大丈夫です。
- 「Initialize this repository with a README」と書かれたボタンがあると思いますが、これはMarkdownのことを話すときに一緒に説明するのでチェックをつけといてください。

- 「Git ignore」に関してはUnityと書かれている箇所を選択しといてください。
- そしたら「Create repository」を押してください。これでローカルリポジトリの作成が完了しました。

Create a new repository

Name  
repository name

Description

Local path  
C:\Users\...\Documents\GitHub Choose...

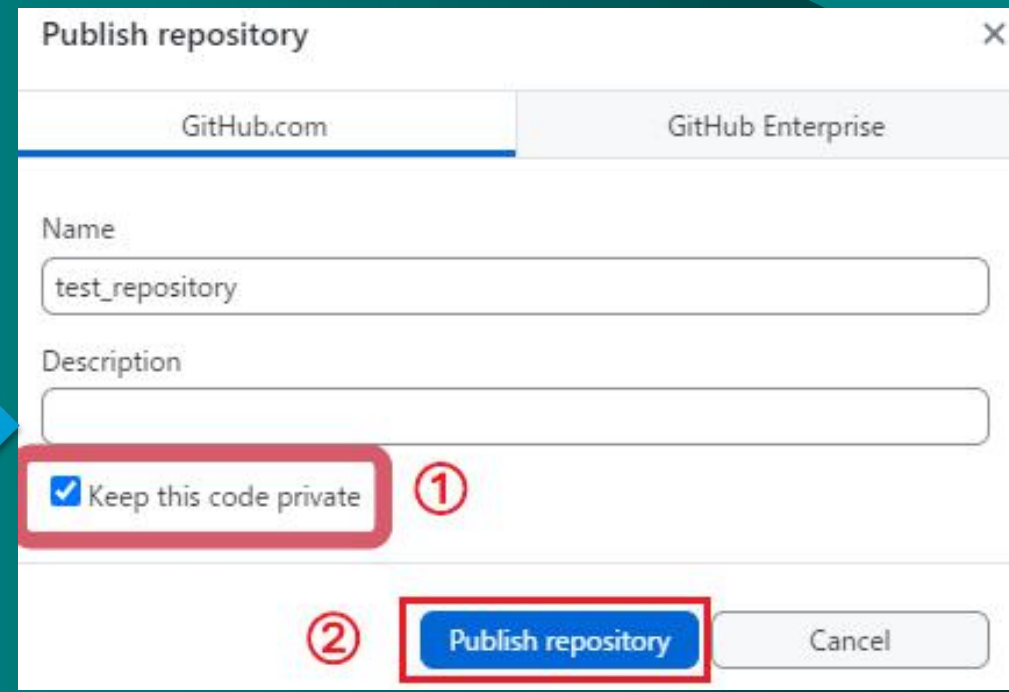
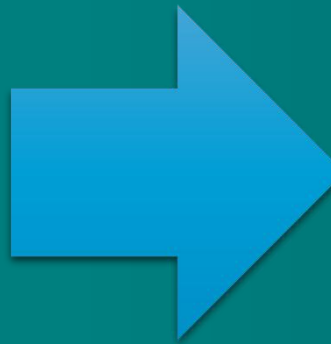
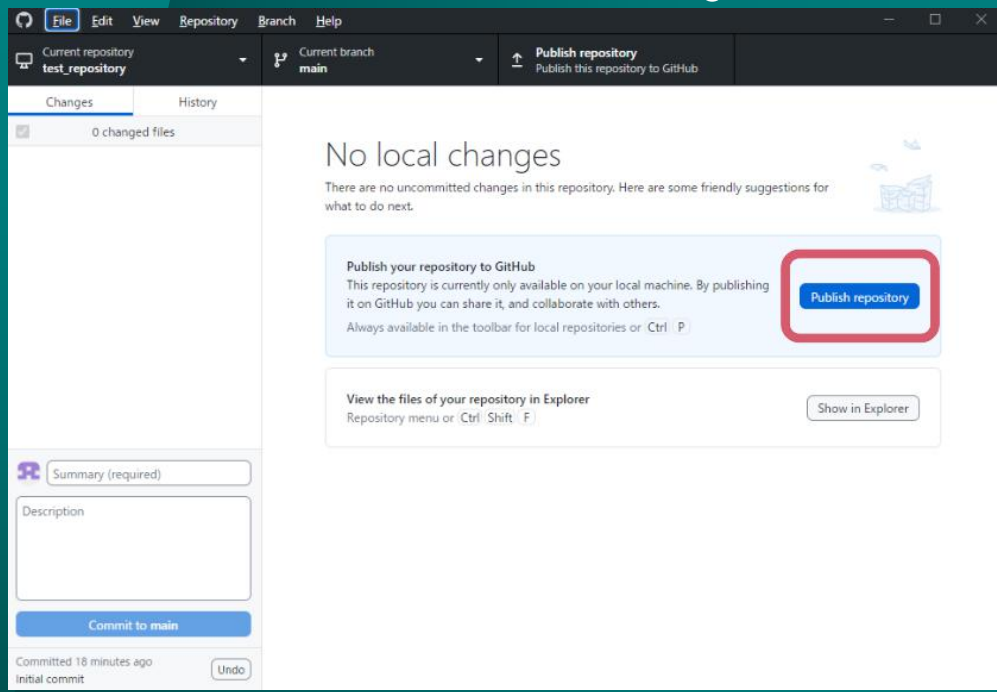
☐ Initialize this repository with a README

Git ignore  
None

License  
None

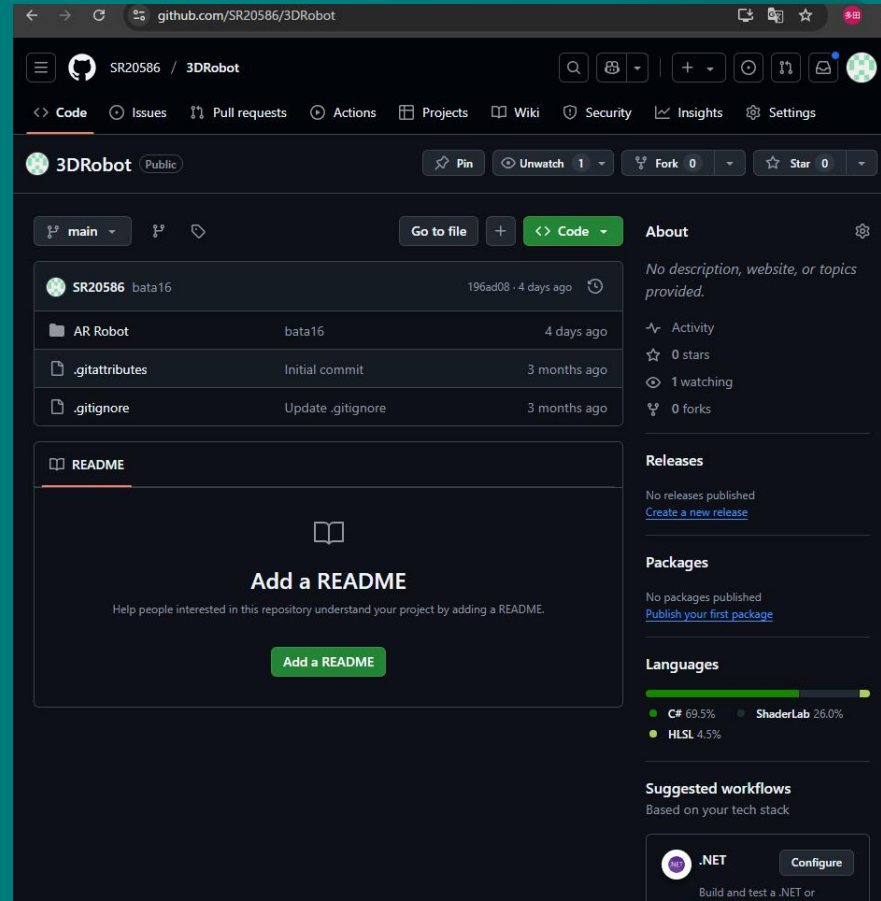
Create repository Cancel

- ここから自分のgithubに反映させるために「Publish repository」を押すとリモートリポジトリ用の名前とこのリポジトリを公開にするか、非公開にするかというチェック欄があると思いますが、このチェックを外しておいてください。そして再び「Publish repository」を押してください。



# githubにプッシュする

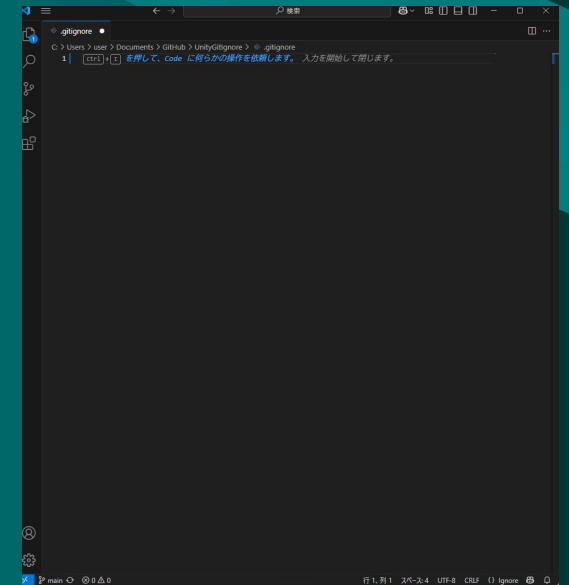
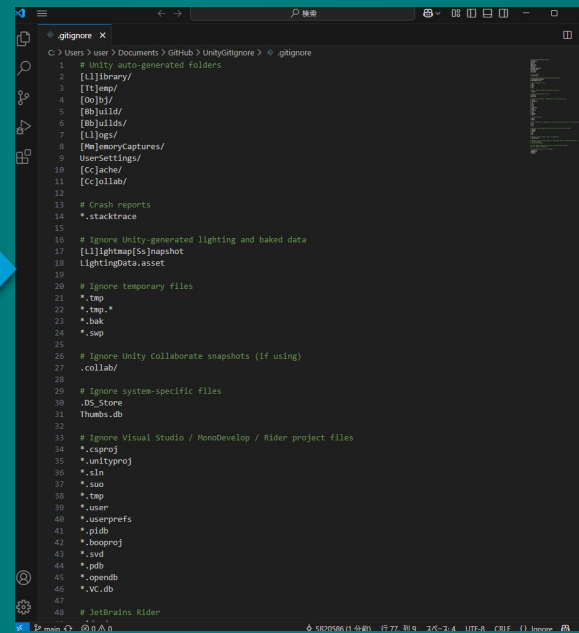
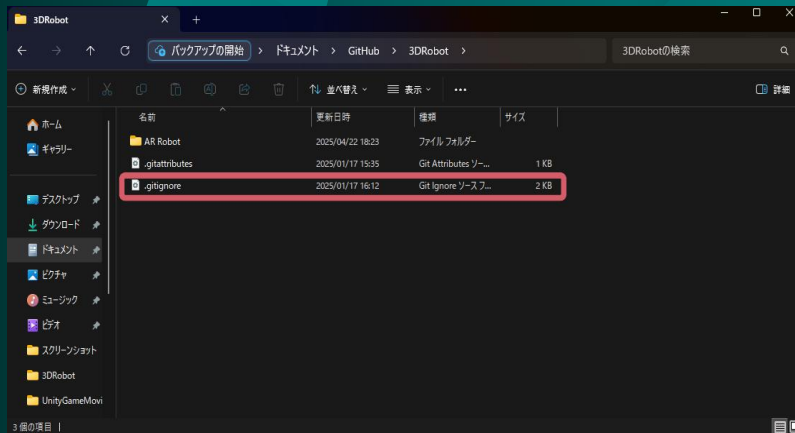
- ここまで来たら一旦自分のgithubを開いてみましょう。  
うまくいっていればgithubに自分が作ったりリポジトリが入っているはずです。



←(例)



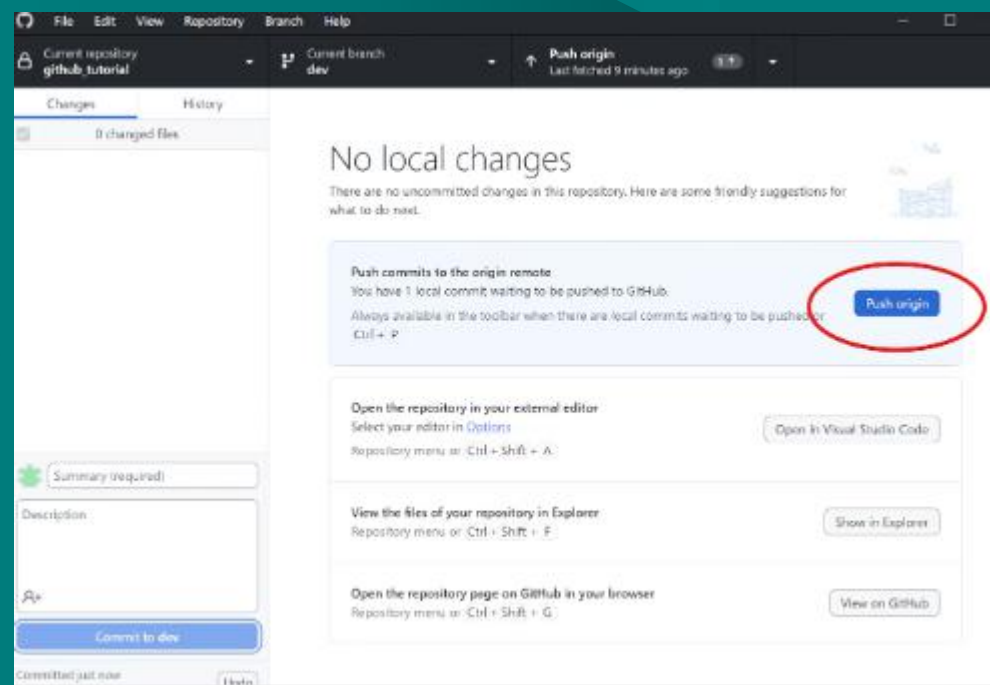
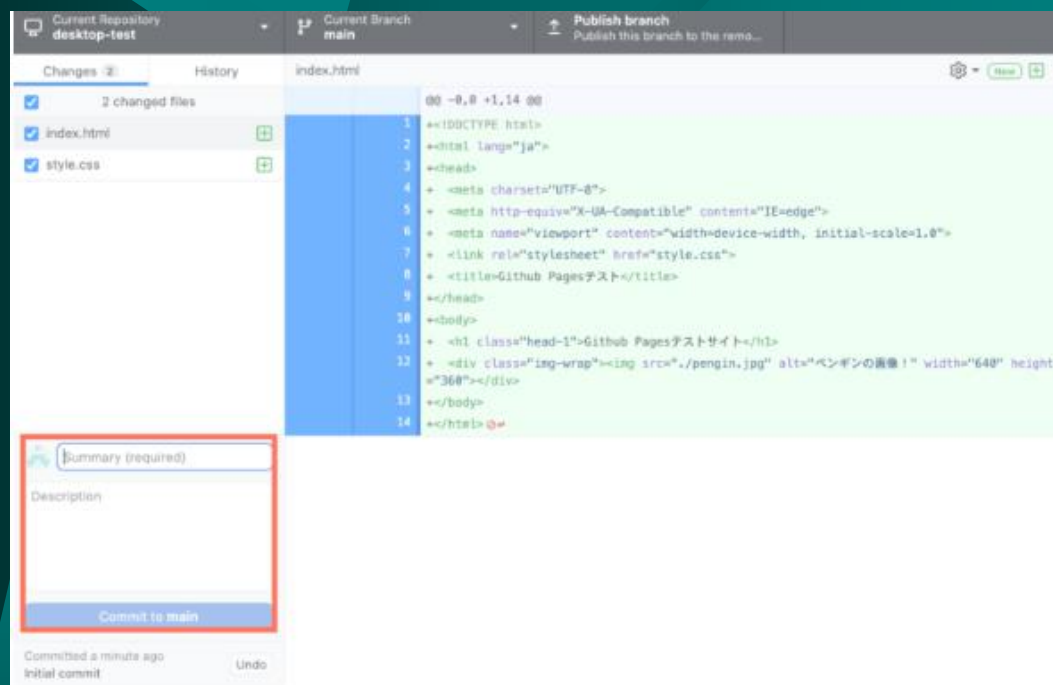
- そこからローカルリポジトリを保存した場所を開いてもらってその中の「gitignore」と書いているファイルを開いてもらおうとVScordが開くと思うのでそこからそのプログラムを全て消します。





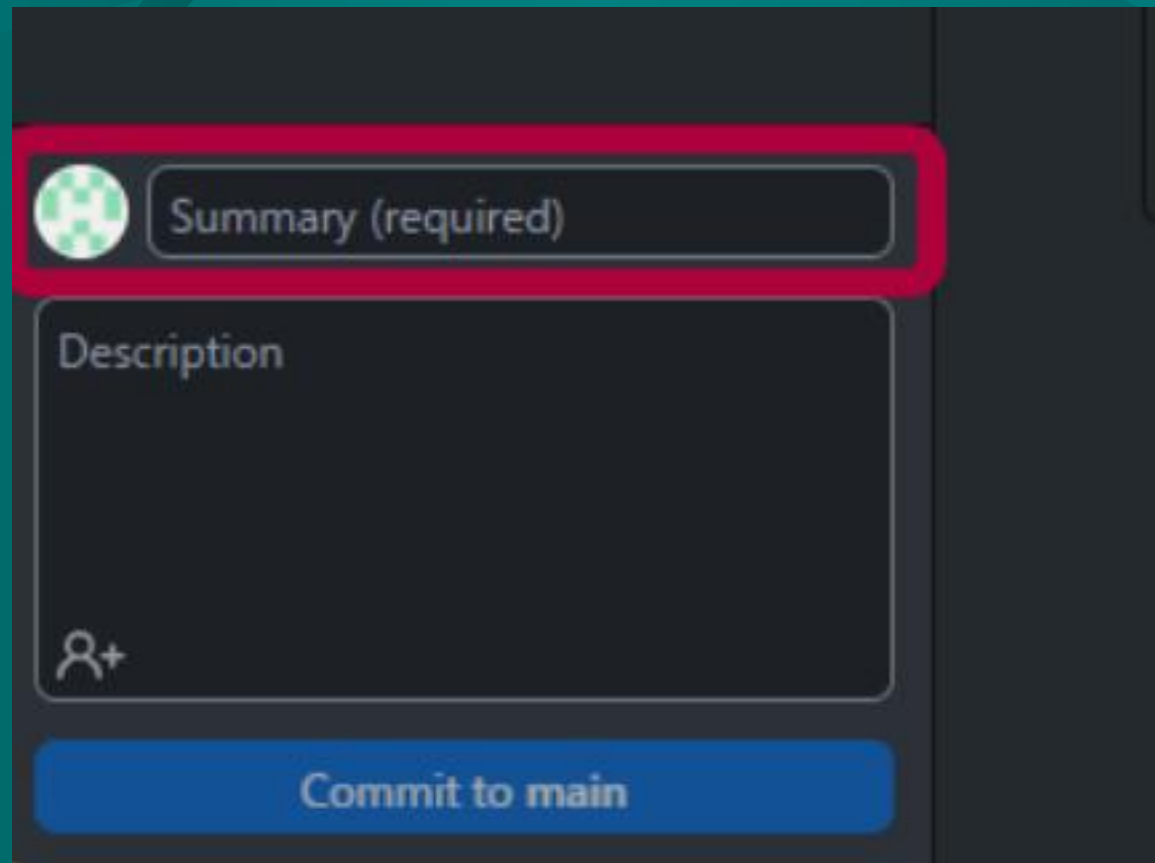


- github desktopを開いてもらおうとgitignoreが変更されたぞーってというのが表示されているはずです。そして「Commit to main」を押します。そして「Push origin」を押すとリモートリポジトリに変更が加わります。



↑ 例（別のプログラムです）

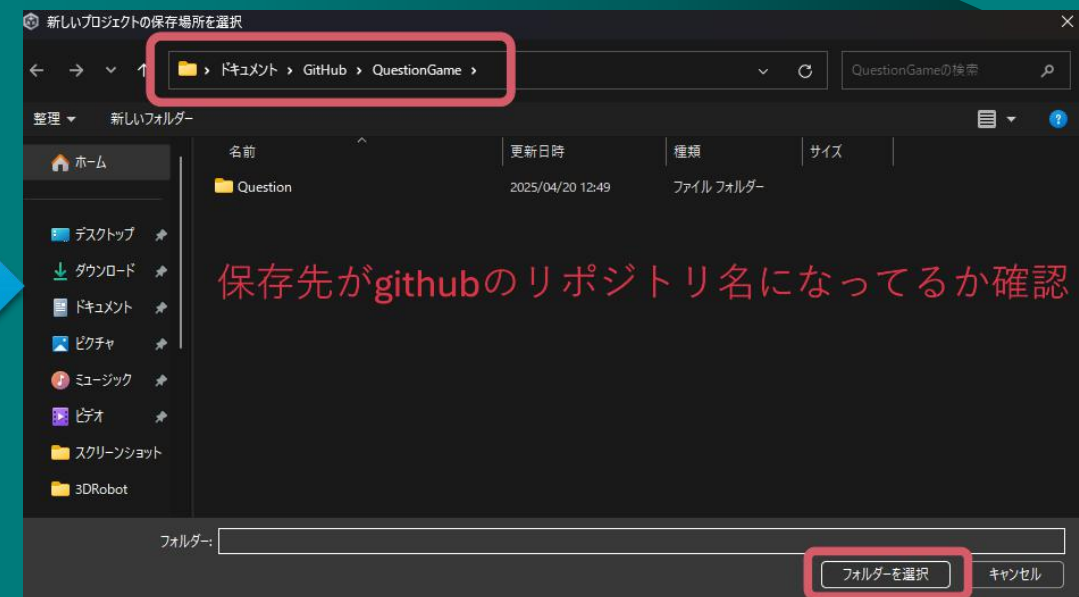
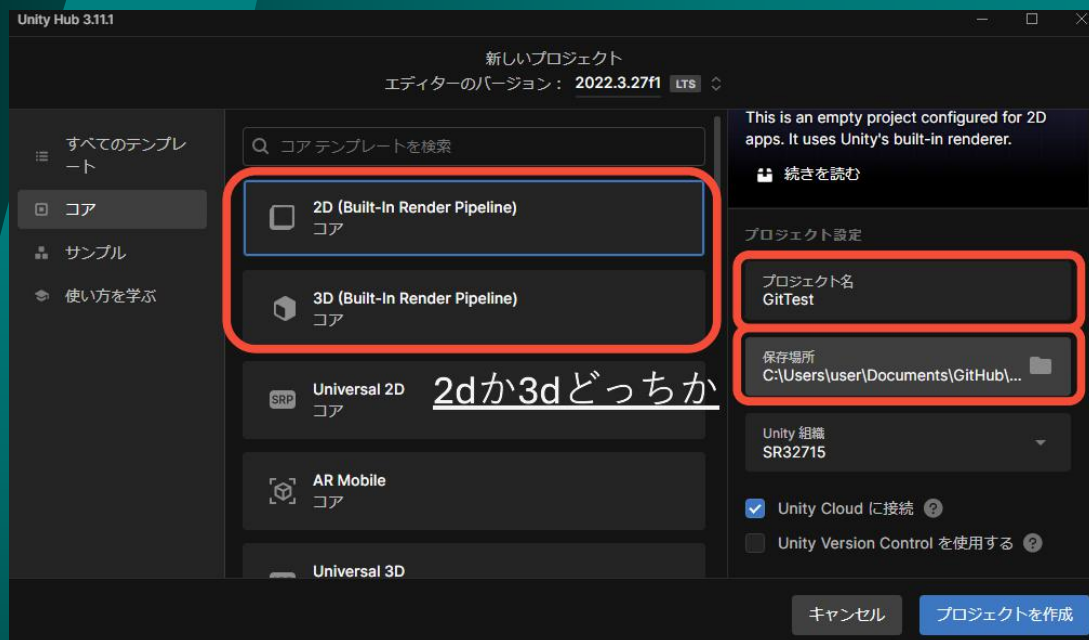
- 基本的にさっきの方法+「Summary (required)」というところに何か書けば（例：変更した内容）ファイルを追加した時にコミットできると思います。



A screenshot of a commit dialog box. The dialog has a dark background. At the top, there is a circular profile picture icon on the left and a text input field labeled "Summary (required)" on the right. This entire top section is enclosed in a red rounded rectangular border. Below this, there is a larger text area labeled "Description". At the bottom left of the description area is a small icon of a person with a plus sign. At the very bottom of the dialog is a blue button labeled "Commit to main".

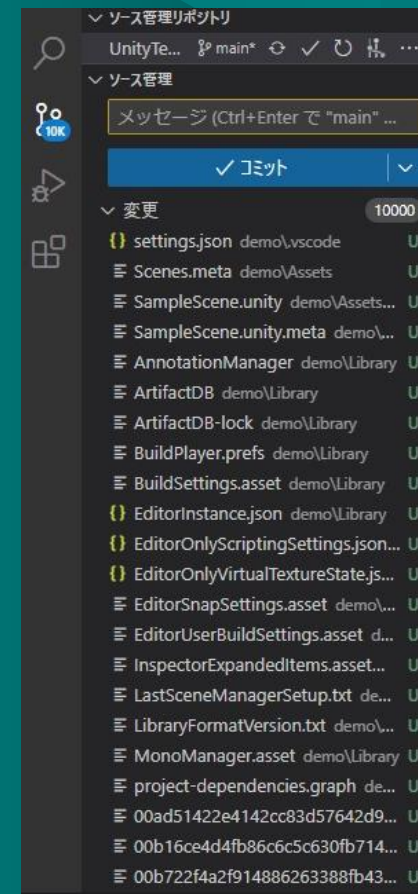
# unityのバージョン管理

- ここからが本題です。  
まず、「unity hub」を開き、2dでも3dでもいいので新規プロジェクトをさっき作ったローカルリポジトリに保存してください。

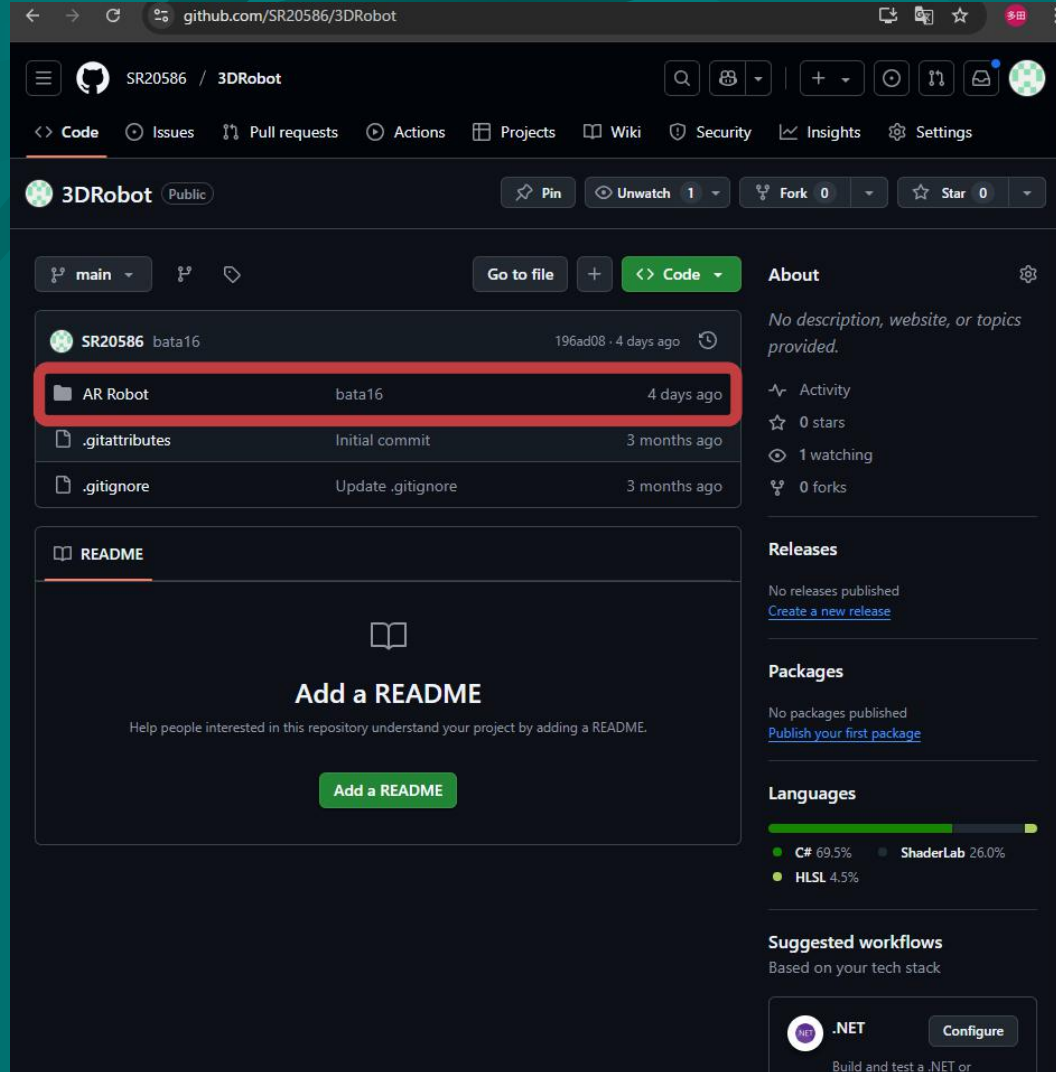


- unityが起動するまで待ち、完全に起動したら一度保存してgithub desktopに移るといったいコードやらなんやらが表示されていると思います。  
ファイル数が1万を超えていたらgitignoreファイルの設定が間違っている可能性が高いです。

失敗例（vscodeです） →



- そうしたらさっき解説したようにコミットしてプッシュすると自分のgithubにunityのプロジェクトファイルがあるはずです。





- こっからコミットとプッシュを繰り返していきだけでunityでやった作業内容がネット上に上がるようになります。
- これにて簡易的な説明を終わります。  
ブランチやプルリクエストといったことはチームで活動するときに使いますが今は説明しません。  
他にもUnity Version Controlというunity独自のバージョン管理ソフトがありますがそれを使いたい場合は自分で調べてやってください。